

横浜開港資料館 平成 26 年度第 4 回企画展示

# ガールズ ビー アンビシャス！

## ～横浜山手のミッション・スクール～

### 1. 展示会期など

会 期	平成 27 年 1 月 28 日 (水) ～4 月 19 日 (日)
開館時間	午前 9 時 30 分～午後 5 時 (入館は 4 時 30 分まで)
会 場	横浜開港資料館 企画展示室
入 場 料	一般 200 円、小・中学生 100 円 団体 (20 人以上) 割引あり
休 館 日	月曜日
主 催	横浜開港資料館
共 催	横浜市教育委員会
協 力	(学) 捜真学院、(学) フェリス女学院、(学) 横浜英和学院、(学) 横浜共立学園、 (学) 横浜雙葉学園
後 援	朝日新聞横浜総局、神奈川新聞社、産経新聞社横浜総局、東京新聞横浜支局、 日本経済新聞社横浜支局、毎日新聞横浜支局、読売新聞東京本社横浜支局、 NHK 横浜放送局、t v k

### 2. 展示趣旨

安政 6 (1859) 年、幕府が締結した通商条約により横浜、長崎などが開港されると、外交官や商人ばかりでなく、キリスト教の宣教師や修道士たちも来日しました。来日した宣教師や修道士、修道女は、医療や聖書の翻訳など様々な活動を行いましたが、その一つが学校の設立でした。

横浜の山手には、いくつものミッション・スクールが誕生しましたが、女子ミッション・スクールとしては、明治 3 (1870) 年創立のフェリス女学院、明治 4 (1871) 年創立の横浜共立学園、明治 13 (1880) 年創立の横浜英和学院、明治 19 (1886) 年創立の捜真学院、明治 33 (1900) 年開校の横浜雙葉学園の 5 校でした。それらミッション・スクールは、明治 20 年代、国家主義の台頭によるキリスト教の抑圧や、関東大震災、第二次世界大戦と、多くの困難に直面しながら、今日まで存続してきました。

本展示では、ミッション・スクール発祥の地、横浜山手で誕生した 5 つの女子ミッション・スクールを取り上げ、各校が所蔵する資料を通じてその歴史をたどります。またミッション・スクールが横浜の女子教育に果たした役割を考えます。

### 3. 展示構成

- 1 江戸時代の女子教育と「学制」施行
- 2 宣教師の来日と学校の創設
- 3 条約改正とキリスト教
- 4 女学校令とミッション・スクール
- 5 関東大震災の発生～被災と復興～

#### 4. おもな展示資料 (全展示数 約140点)

##### ● 明治30年代後半の横浜市街と山手を写したパノラマ写真

当館所蔵 (岡山洋二氏寄贈)



縦181<sup>mm</sup>、横383<sup>mm</sup>の台紙に、縦86<sup>mm</sup>、横298<sup>mm</sup>の写真が貼られている小さなパノラマ写真で、「Ishikawa & Ushi-Saka. Yokohama.」とタイプで打たれた紙片が台紙の下中央に貼られている。

写真の左に横浜の市街が写っており、左端には中村川に架かる車橋や翁橋が、市街地には、明治37(1904)年7月竣工の横浜正金銀行のドームと、本町通一丁目の町会所がみえる。写真右半分には、車橋に続く牛坂とその奥に山手の家々が写っており、牛坂を登り切ると左側、山手212番地には、明治4(1871)年に創立し、翌年の明治5(1872)年に校舎を移転して以来共立女学校(現横浜共立学園)があった。写真を見ると、共立女学校のあるあたりに、明治37年11月竣工のドリーマス・ホールが写っている。写真はドリーマス・ホールの竣工後に撮影されたと考えられる。なお町会所の建物が、明治39(1907)年12月に焼失したので、この写真は明治37年11月以降、同39年12月以前に撮影されたことになる。

撮影場所は打越(横浜市中区)の高台と推定され、牛坂から共立女学校のある山手の南端の様子を写したもので、他に類似した写真が無いことから、非常に貴重な写真である。

##### ● 絵葉書 山手時代の捜真女学校校舎

当館所蔵 (松岡正樹氏寄贈)



明治23(1890)年、アメリカ婦人バプテスト海外伝道協会により日本に派遣されたカンヴァースは、明治19(1886)年、山手67番地に創設された英和女学校を引き継ぎ、明治24(1891)年校舎を山手34番地に移転し、校名も英和女学校からメリー・L・コルビー・ホームに変更した。同校は、明治25(1892)年には、校名を捜真女学校と再度改称し、明治43年には校地拡大のため神奈川の中丸に移転する。

この絵葉書は、山手34番地に校舎があった当時のもの。



## \* 展示関連事業

### ● 資料講読講座 「英文資料にみる横浜のミッション・スクール」(3回連続)

… 宣教師が記した英文資料を読み、横浜のミッション・スクール創設当時の歴史をたどります。

[講師] 小玉敏子氏 (元関東学院女子短期大学学長・捜真学院前理事長)

[日時] 2月28日(土) / 3月7日(土) / 3月14日(土) 14時～15時30分

[会場] 横浜開港資料館 講堂

[資料代] 1,500円(一括)

[募集人数] 50名 (応募者多数の場合は抽選)

[申込方法] 往復はがきに、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入の上、下記住所にお送り下さい。  
はがきは1枚につき1名様だけの申込みです。

[宛先] 〒231-0021 横浜市中区日本大通3 横浜開港資料館  
ミッション・スクール展講座係

[締切] 2月20日(金) 必着

\* 問い合わせ：横浜開港資料館 045-201-2100

### ● 横浜散策 「山手の丘に横浜女子教育の源流を訪ねて」

… 企画展を展示担当者の解説で見学後、山手に残されたミッション・スクールの歴史をたどります。

[日時] 2月22日(日) / 3月11日(水) / 3月22日(日) 9時30分～12時30分 横浜  
開港資料館・中庭に9時30分集合

[参加費] 500円/人(保険代含む) 別途、横浜開港資料館入館料が必要

[定員] 各回30人 いずれも荒天中止

[申込方法] 往復はがき・電話又はFAXで、参加希望日、住所、氏名、電話番号を記して、下記までお  
申し込みください。

[宛先] 〒231-0023 横浜市中区山下町15 横浜マリンタワー内  
NPO法人 横浜シティガイド協会

電話：045-228-7678 (平日10時～16時)

FAX：045-228-7693

#### お問合せ先

横浜開港資料館	展示担当：石崎 康子	TEL 045-201-2136
	副館長：西川 武臣	TEL 045-201-2100

\* 画像データをご要望の場合は右へ、ご連絡ください。横浜開港資料館 久保(広報) TEL：045-201-2100